

# 3 市の施策に対する満足度・重要度について

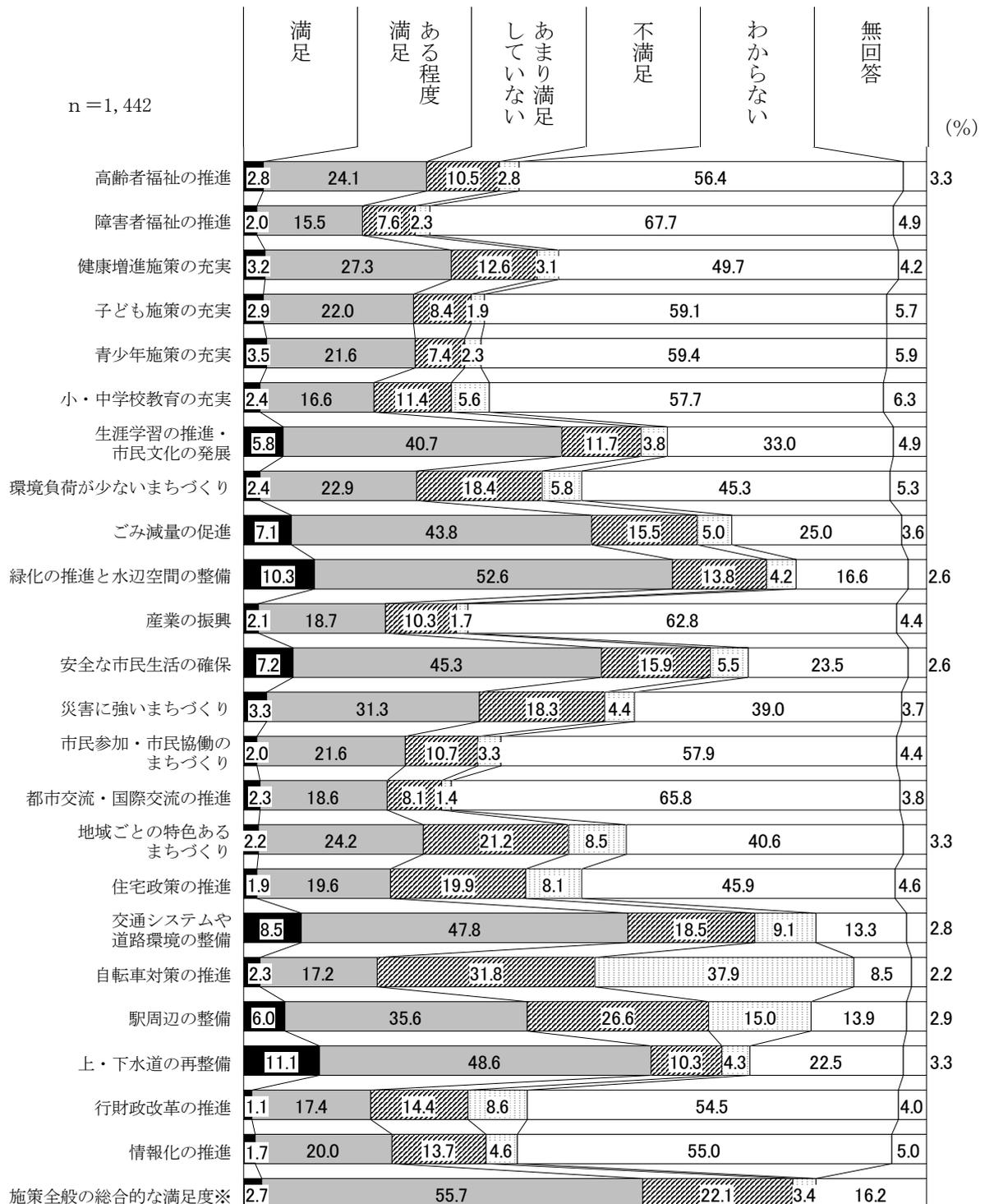
## 3-1 満足度

◎ 【施策全般の総合的な満足度】は「ある程度満足」が5割台半ばである

問13 あなたは以下(①～⑳)のことがらについて、満足度と重要度をお答えください。

【1】現在の市の施策・事業の実施状況に対し、どの程度満足していますか。満足度を判断できない場合は「わからない」に○をしてください。(○は項目ごとにそれぞれ1つ)

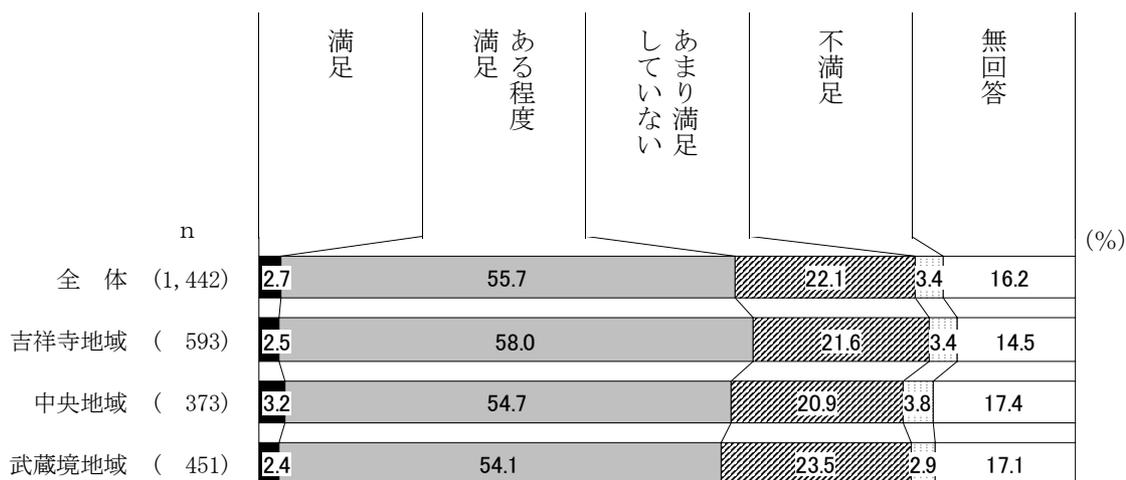
図表3-1 満足度



※【施策全般の総合的な満足度】については選択肢に「わからない」が含まれない。

市の施策に対する満足度を聞いた。施策全般の総合的な満足度をみると、「満足」が2.7%であるが、「ある程度満足」(55.7%)が5割台半ばである。「あまり満足していない」(22.1%)が2割強となっている。「満足」の割合が最も多いのは〔上・下水道の再整備〕(11.1%)で1割強、「ある程度満足」は〔緑化の推進と水辺空間の整備〕(52.6%)で5割強となっている。一方、「不満足」と「あまり満足していない」は〔自転車対策の推進〕でともに最も多くなっている。(図表3-1)

図表3-2 施策全般の総合的な満足度 (居住地域別)



施策全般の総合的な満足度について、居住地域別で見ると、特に大きな違いは見られない。(図表3-2)

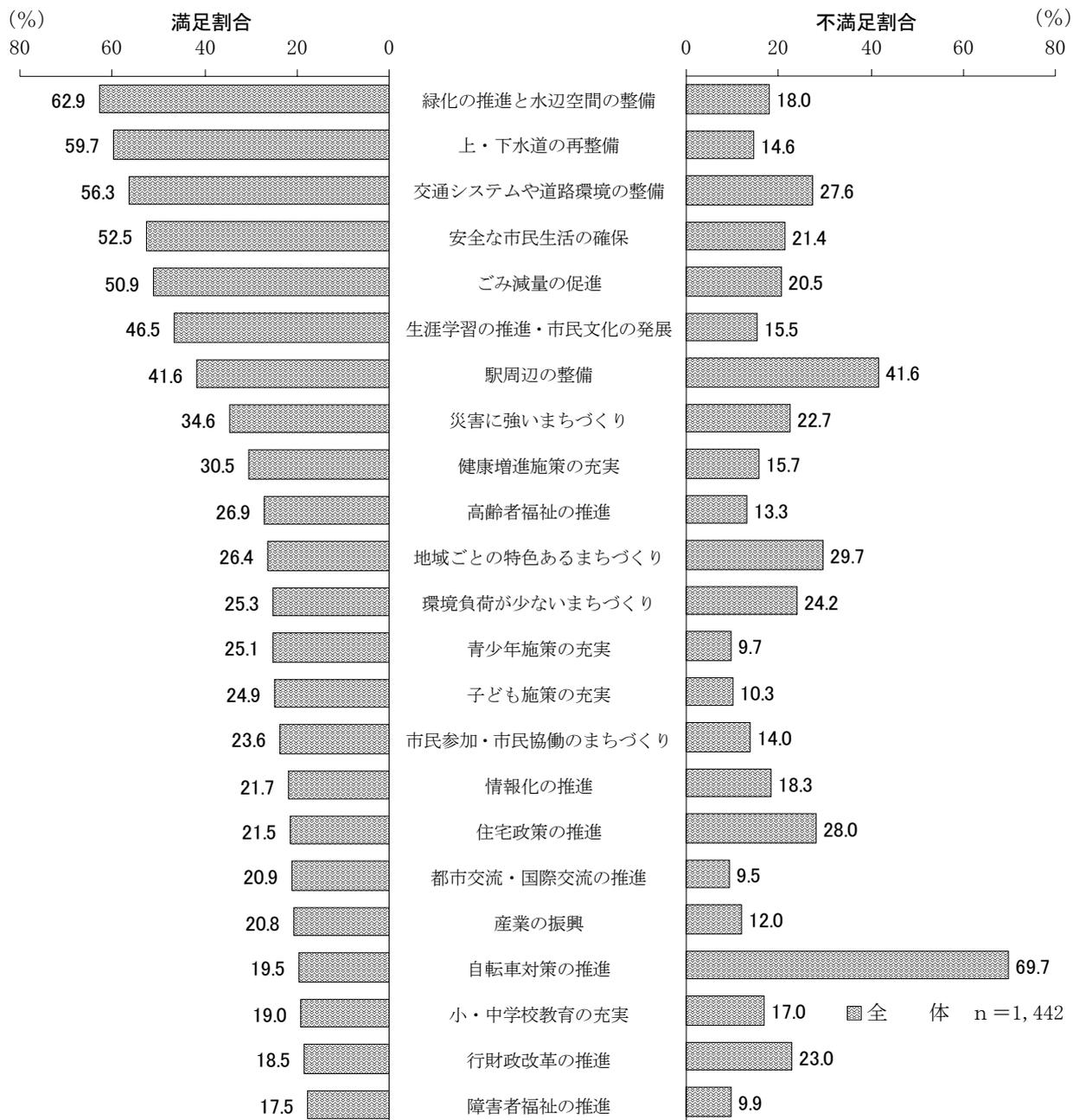
## 《満足》

「満足」と「ある程度満足」を合わせた《満足》の割合が高い順にみると、〔緑化の推進と水辺空間の整備〕(62.9%)が6割強で最も多い。次いで、〔上・下水道の再整備〕(59.7%)が6割弱である。〔交通システムや道路環境の整備〕(56.3%)、〔安全な市民生活の確保〕(52.5%)、〔ごみ減量の促進〕(50.9%)などが5割台で続いている。

## 《不満足》

「不満」と「あまり満足していない」を合わせた《不満足》の割合は、〔自転車対策の推進〕(69.7%)が7割弱で最も多い。次いで、〔駅周辺の整備〕(41.6%)が4割強、〔地域ごとの特色あるまちづくり〕(29.7%)が3割弱、〔住宅政策の推進〕(28.0%)が3割近くとなっている。(図表3-3)

図表3-3 満足割合・不満割合(満足順)



【満足度】

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」、無回答を除いた回答の平均値を【満足度】とした。(図表3-4)

図表3-4 満足度(項目別件数表および満足度)  
(件数)

番号	項目	4	3	2	1	合計	わからない	無回答	満足度
		満足	満足 ある 程度	2 あまり 満足 していない	1 不満足				
1	高齢者福祉の推進	41	348	151	41	581	813	48	2.670
2	障害者福祉の推進	29	224	110	33	396	976	70	2.629
3	健康増進施策の充実	46	394	181	44	665	716	61	2.665
4	子ども施策の充実	42	317	121	28	508	852	82	2.734
5	青少年施策の充実	50	311	106	33	500	857	85	2.756
6	小・中学校教育の充実	34	239	165	81	519	832	91	2.435
7	生涯学習の推進・市民文化の発展	84	587	169	55	895	476	71	2.782
8	環境負荷が少ないまちづくり	34	330	266	83	713	653	76	2.442
9	ごみ減量の促進	102	631	224	72	1,029	361	52	2.741
10	緑化の推進と水辺空間の整備	148	758	199	60	1,165	240	37	2.853
11	産業の振興	30	270	149	25	474	905	63	2.643
12	安全な市民生活の確保	104	653	229	80	1,066	339	37	2.733
13	災害に強いまちづくり	48	451	264	63	826	562	54	2.586
14	市民参加・市民協働のまちづくり	29	312	155	47	543	835	64	2.595
15	都市交流・国際交流の推進	33	268	117	20	438	949	55	2.717
16	地域ごとの特色あるまちづくり	32	349	306	123	810	585	47	2.358
17	住宅政策の推進	27	283	287	117	714	662	66	2.308
18	交通システムや道路環境の整備	122	689	267	131	1,209	192	41	2.663
19	自転車対策の推進	33	248	459	547	1,287	123	32	1.819
20	駅周辺の整備	86	513	383	217	1,199	201	42	2.390
21	上・下水道の再整備	160	701	148	62	1,071	324	47	2.895
22	行財政改革の推進	16	251	208	124	599	786	57	2.265
23	情報化の推進	25	289	197	66	577	793	72	2.473
24	施策全般の総合的な満足度	39	803	318	49	1,209		233	2.688

最も【満足度】が高いのは〔上・下水道の再整備〕(2.895)である。次いで、〔緑化の推進と水辺空間の整備〕(2.853)が高くなっている。以下、〔生涯学習の推進・市民文化の発展〕(2.782)、〔青少年施策の充実〕(2.756)、〔ごみ減量の促進〕(2.741)、〔子ども施策の充実〕(2.734)、「安全な市民生活の確保」(2.733)、「都市交流・国際交流の推進」(2.717)の順となっている。一方、最も【満足度】が低いのは〔自転車対策の推進〕(1.819)である。次いで、〔行財政改革の推進〕(2.265)が低くなっている。以下、〔住宅政策の推進〕(2.308)、〔地域ごとの特色あるまちづくり〕(2.358)、〔駅周辺の整備〕(2.390)の順となっている。(図表3-5)

図表3-5 満足度(点数順)

順位	番号	項目	満足度	順位	番号	項目	満足度
1	21	上・下水道の再整備	2.895	13	2	障害者福祉の推進	2.629
2	10	緑化の推進と水辺空間の整備	2.853	14	14	市民参加・市民協働のまちづくり	2.595
3	7	生涯学習の推進・市民文化の発展	2.782	15	13	災害に強いまちづくり	2.586
4	5	青少年施策の充実	2.756	16	23	情報化の推進	2.473
5	9	ごみ減量の促進	2.741	17	8	環境負荷が少ないまちづくり	2.442
6	4	子ども施策の充実	2.734	18	6	小・中学校教育の充実	2.435
7	12	安全な市民生活の確保	2.733	19	20	駅周辺の整備	2.390
8	15	都市交流・国際交流の推進	2.717	20	16	地域ごとの特色あるまちづくり	2.358
9	1	高齢者福祉の推進	2.670	21	17	住宅政策の推進	2.308
10	3	健康増進施策の充実	2.665	22	22	行財政改革の推進	2.265
11	18	交通システムや道路環境の整備	2.663	23	19	自転車対策の推進	1.819
12	11	産業の振興	2.643				

性別で見ると、1位、2位は〔上・下水道の再整備〕と〔緑化の推進と水辺空間の整備〕で大きな違いはない。次に男性では、〔生涯学習の推進・市民文化の発展〕が3位、〔子ども施策の充実〕が4位となっている。女性では、〔青少年施策の充実〕が3位、〔安全な市民生活の確保〕が4位となっている。

居住地域別で見ると、いずれも1位と2位は〔上・下水道の再整備〕と〔緑化の推進と水辺空間の整備〕であり、3位は、吉祥寺地域では〔青少年施策の充実〕、武蔵境地域では、〔安全な市民生活の確保〕である。武蔵境地域では、〔都市交流・国際交流の推進〕が4位、〔交通システムや道路環境の整備〕が6位と続いている。(図表3-6)

図表3-6 満足度(性別・居住地域別順位)

別 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域
1位	上・下水道の再整備 2.895	上・下水道の再整備 2.933	上・下水道の再整備 2.874	上・下水道の再整備 2.848	緑化の推進と水辺空間の整備 2.957	上・下水道の再整備 2.964
2位	緑化の推進と水辺空間の整備 2.853	緑化の推進と水辺空間の整備 2.841	緑化の推進と水辺空間の整備 2.865	緑化の推進と水辺空間の整備 2.796	上・下水道の再整備 2.896	緑化の推進と水辺空間の整備 2.833
3位	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.782	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.769	青少年施策の充実 2.846	青少年施策の充実 2.779	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.890	安全な市民生活の確保 2.796
4位	青少年施策の充実 2.756	子ども施策の充実 2.726	安全な市民生活の確保 2.810	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.757	青少年施策の充実 2.802	都市交流・国際交流の推進 2.768
5位	ごみ減量の促進 2.741	ごみ減量の促進 2.681	ごみ減量の促進 2.791	子ども施策の充実 2.729	子ども施策の充実 2.787	ごみ減量の促進 2.744
6位	子ども施策の充実 2.734	交通システムや道路環境の整備 2.675	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.791	ごみ減量の促進 2.710	ごみ減量の促進 2.785	交通システムや道路環境の整備 2.741
7位	安全な市民生活の確保 2.733	高齢者福祉の推進 2.670	都市交流・国際交流の推進 2.774	安全な市民生活の確保 2.691	安全な市民生活の確保 2.745	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.706
8位	都市交流・国際交流の推進 2.717	都市交流・国際交流の推進 2.658	子ども施策の充実 2.744	都市交流・国際交流の推進 2.676	都市交流・国際交流の推進 2.728	青少年施策の充実 2.700
9位	高齢者福祉の推進 2.670	産業の振興 2.644	健康増進施策の充実 2.713	高齢者福祉の推進 2.668	交通システムや道路環境の整備 2.723	子ども施策の充実 2.697
10位	健康増進施策の充実 2.665	青少年施策の充実 2.638	高齢者福祉の推進 2.686	健康増進施策の充実 2.659	高齢者福祉の推進 2.700	産業の振興 2.682

年代別で見ると、20歳～29歳では、〔高齢者福祉の推進〕が1位、〔子ども施策の充実〕が2位、〔障害者福祉の推進〕が4位となっている。30歳～49歳の各年代では、〔産業の振興〕が5位、40歳～49歳では〔高齢者福祉の推進〕が4位となっている。50歳～59歳では、〔都市交流・国際交流の推進〕が1位、〔安全な市民生活の確保〕が3位となっている。70歳以上の各年代では〔ごみ減量の促進〕が2位となっている。  
(図表3-7)

図表3-7 満足度(年代別順位)

年代 順位	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上
1位	高齢者福祉の推進 3.000	緑化の推進と水辺空間の整備 3.004	上・下水道の再整備 2.837	都市交流・国際交流の推進 2.808	上・下水道の再整備 2.941	上・下水道の再整備 2.973	上・下水道の再整備 3.091
2位	子ども施策の充実 2.881	上・下水道の再整備 2.925	緑化の推進と水辺空間の整備 2.815	上・下水道の再整備 2.787	緑化の推進と水辺空間の整備 2.850	ごみ減量の促進 2.872	ごみ減量の促進 2.926
3位	緑化の推進と水辺空間の整備 2.876	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.861	青少年施策の充実 2.812	安全な市民生活の確保 2.736	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.830	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.861	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.894
4位	障害者福祉の推進 2.774	青少年施策の充実 2.842	高齢者福祉の推進 2.757	緑化の推進と水辺空間の整備 2.714	ごみ減量の促進 2.791	緑化の推進と水辺空間の整備 2.842	交通システムや道路環境の整備 2.870
5位	ごみ減量の促進 2.774	産業の振興 2.833	産業の振興 2.739	子ども施策の充実 2.709	子ども施策の充実 2.775	子ども施策の充実 2.771	安全な市民生活の確保 2.859
6位	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.770	高齢者福祉の推進 2.831	都市交流・国際交流の推進 2.721	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.702	青少年施策の充実 2.744	安全な市民生活の確保 2.748	子ども施策の充実 2.846
7位	上・下水道の再整備 2.763	安全な市民生活の確保 2.810	安全な市民生活の確保 2.652	ごみ減量の促進 2.688	障害者福祉の推進 2.705	交通システムや道路環境の整備 2.725	青少年施策の充実 2.842
8位	産業の振興 2.763	都市交流・国際交流の推進 2.806	子ども施策の充実 2.645	健康増進施策の充実 2.670	安全な市民生活の確保 2.683	市民参加・市民協働のまちづくり 2.718	緑化の推進と水辺空間の整備 2.838
9位	青少年施策の充実 2.758	ごみ減量の促進 2.759	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.624	障害者福祉の推進 2.643	交通システムや道路環境の整備 2.681	健康増進施策の充実 2.694	小・中学校教育の充実 2.762
10位	健康増進施策の充実 2.732	子ども施策の充実 2.735	健康増進施策の充実 2.620	青少年施策の充実 2.638	健康増進施策の充実 2.673	都市交流・国際交流の推進 2.675	高齢者福祉の推進 2.750

### 3-2 重要度

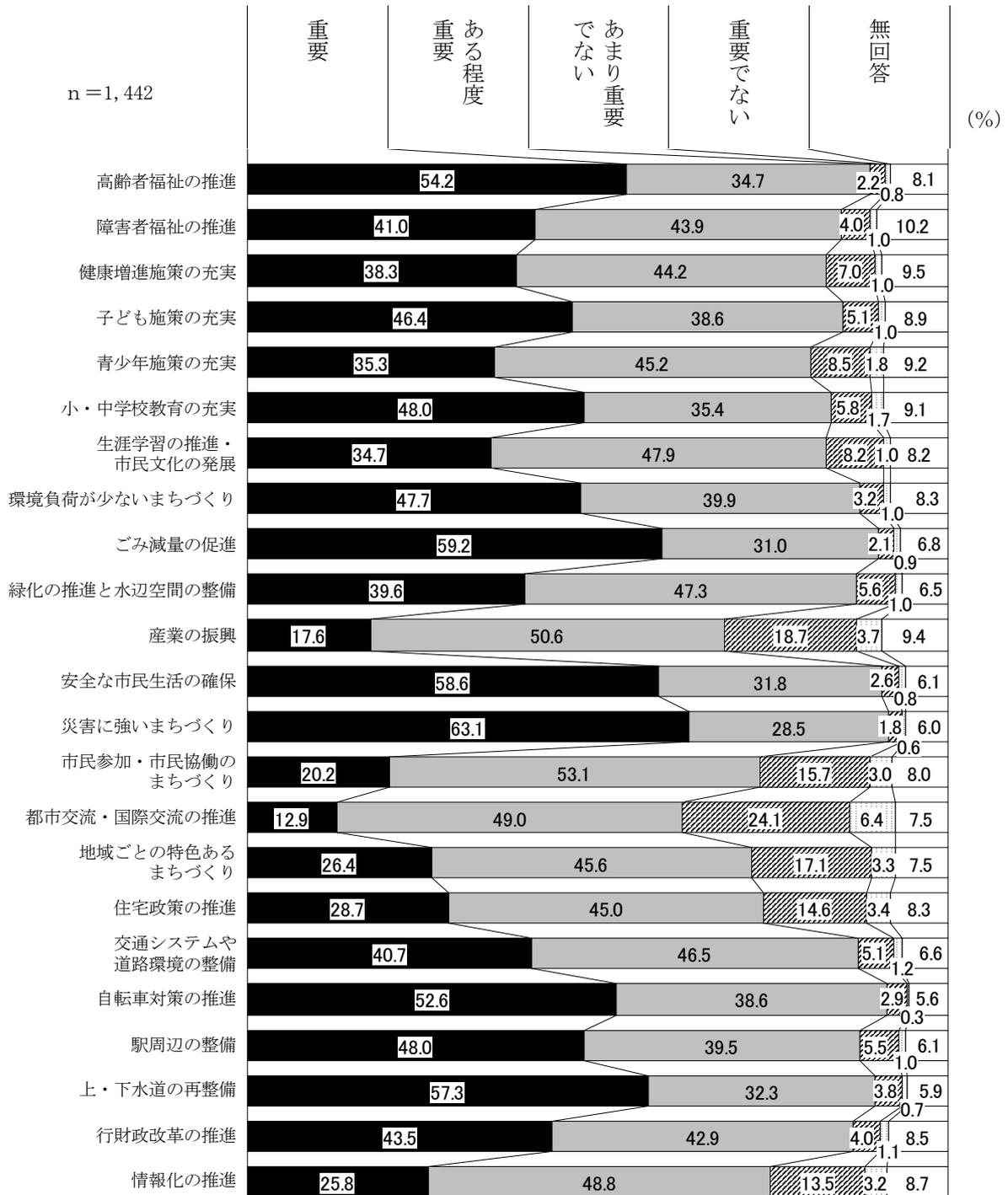
◎ [災害に強いまちづくり]で「重要」が6割台半ば近く、[都市交流・国際交流の推進]で「あまり重要でない」が2割台半ば近く

問13 あなたは以下(①～⑳)のことがらについて、満足度と重要度をお答えください。

【2】これからの市政を進める上で、どの程度重要だと思いますか。

(○は項目ごとにそれぞれ1つ)

図表3-8 重要度



市の施策に対する重要度を聞いた。「重要」の割合が最も多いのは〔災害に強いまちづくり〕(63.1%)で6割台半ば近く、「ある程度重要」は〔市民参加・市民協働のまちづくり〕(53.1%)で5割台半ば近くとなっている。一方、「あまり重要でない」は〔都市交流・国際交流の推進〕(24.1%)で2割台半ば近くとなっている。(図表3-8)

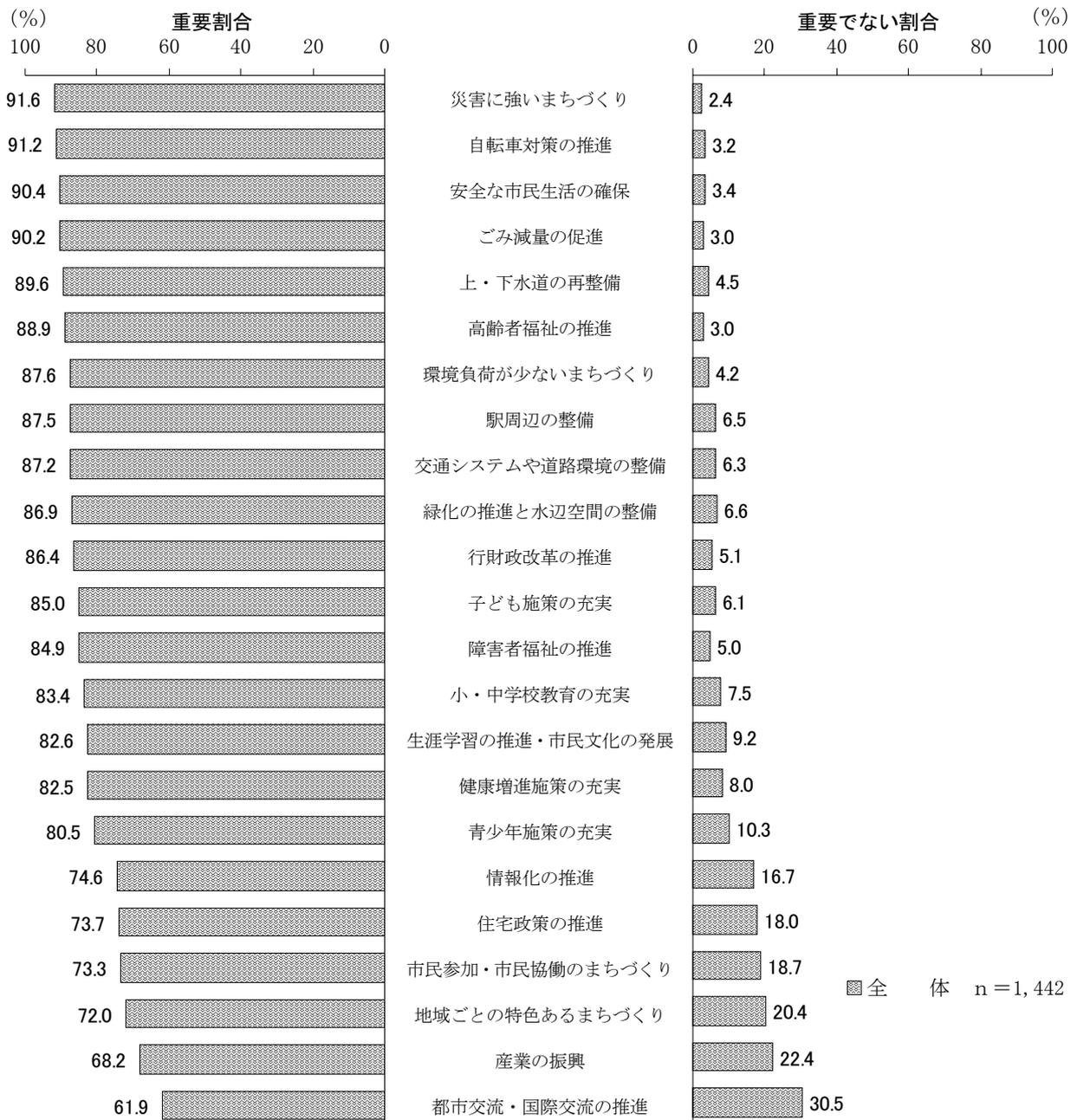
《重要》

「重要」と「ある程度重要」を合わせた《重要》の割合の高い順にみると、〔災害に強いまちづくり〕(91.6%)と〔自転車対策の推進〕(91.2%)が9割強となっている。次いで、〔安全な市民生活の確保〕(90.4%)と〔ごみ減量の促進〕(90.2%)が約9割である。

《重要でない》

一方、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた《重要でない》の割合は、〔都市交流・国際交流の推進〕(30.5%)が約3割で最も高い。次いで、〔産業の振興〕(22.4%)が2割強、〔地域ごとの特色あるまちづくり〕(20.4%)が約2割となっている。(図表3-9)

図表3-9 重要割合・重要でない割合(重要順)



【重要度】

「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、(無回答を除いた)回答の平均値を【重要度】とした。(図表3-10)

図表3-10 重要度(項目別件数表および重要度)  
(件数)

番号	項目	4	3	2	1	合計	無回答	重要度
		重要	重要 ある程度	あまり 重要でない	重要でない			
1	高齢者福祉の推進	782	500	32	11	1,325	117	3.549
2	障害者福祉の推進	591	633	57	14	1,295	147	3.391
3	健康増進施策の充実	553	637	101	14	1,305	137	3.325
4	子ども施策の充実	669	556	73	15	1,313	129	3.431
5	青少年施策の充実	509	652	123	26	1,310	132	3.255
6	小・中学校教育の充実	692	511	84	24	1,311	131	3.427
7	生涯学習の推進・市民文化の発展	501	690	118	15	1,324	118	3.267
8	環境負荷が少ないまちづくり	688	575	46	14	1,323	119	3.464
9	ごみ減量の促進	854	447	30	13	1,344	98	3.594
10	緑化の推進と水辺空間の整備	571	682	81	14	1,348	94	3.343
11	産業の振興	254	729	270	54	1,307	135	2.905
12	安全な市民生活の確保	845	459	38	12	1,354	88	3.578
13	災害に強いまちづくり	910	411	26	8	1,355	87	3.641
14	市民参加・市民協働のまちづくり	291	765	227	43	1,326	116	2.983
15	都市交流・国際交流の推進	186	707	348	93	1,334	108	2.739
16	地域ごとの特色あるまちづくり	381	658	247	48	1,334	108	3.028
17	住宅政策の推進	414	649	210	49	1,322	120	3.080
18	交通システムや道路環境の整備	587	670	73	17	1,347	95	3.356
19	自転車対策の推進	758	556	42	5	1,361	81	3.519
20	駅周辺の整備	692	569	79	14	1,354	88	3.432
21	上・下水道の再整備	826	466	55	10	1,357	85	3.553
22	行財政改革の推進	627	619	57	16	1,319	123	3.408
23	情報化の推進	372	704	194	46	1,316	126	3.065

最も【重要度】が高いのは〔災害に強いまちづくり〕(3.641)である。以下、〔ごみ減量の促進〕(3.594)、〔安全な市民生活の確保〕(3.578)、〔上・下水道の再整備〕(3.553)、〔高齢者福祉の推進〕(3.549)、〔自転車対策の推進〕(3.519)の順となっている。一方、最も【重要度】が低いのは〔都市交流・国際交流の推進〕(2.739)である。次いで、〔産業の振興〕(2.905)が低くなっている。以下、〔市民参加・市民協働のまちづくり〕(2.983)、〔地域ごとの特色あるまちづくり〕(3.028)、〔情報化の推進〕(3.065)、〔住宅政策の推進〕(3.080)の順となっている。(図表3-11)

図表3-11 重要度(点数順)

順位	番号	項目	重要度	順位	番号	項目	重要度
1	13	災害に強いまちづくり	3.641	13	18	交通システムや道路環境の整備	3.356
2	9	ごみ減量の促進	3.594	14	10	緑化の推進と水辺空間の整備	3.343
3	12	安全な市民生活の確保	3.578	15	3	健康増進施策の充実	3.325
4	21	上・下水道の再整備	3.553	16	7	生涯学習の推進・市民文化の発展	3.267
5	1	高齢者福祉の推進	3.549	17	5	青少年施策の充実	3.255
6	19	自転車対策の推進	3.519	18	17	住宅政策の推進	3.080
7	8	環境負荷が少ないまちづくり	3.464	19	23	情報化の推進	3.065
8	20	駅周辺の整備	3.432	20	16	地域ごとの特色あるまちづくり	3.028
9	4	子ども施策の充実	3.431	21	14	市民参加・市民協働のまちづくり	2.983
10	6	小・中学校教育の充実	3.427	22	11	産業の振興	2.905
11	22	行財政改革の推進	3.408	23	15	都市交流・国際交流の推進	2.739
12	2	障害者福祉の推進	3.391				

性別で見ると、1位、2位は〔災害に強いまちづくり〕と〔ごみ減量の促進〕のどちらかであり、3位は〔安全な市民生活の確保〕である。男性では、〔自転車対策の推進〕が4位、〔行財政改革の推進〕が7位となっている。女性では、〔高齢者福祉の推進〕が4位、〔子ども施策の充実〕が7位となっている。

居住地域別で見ると、いずれも1位、2位、3位は全体の結果と同様の項目が並んでいる。地域ごとに特徴的な点は、吉祥寺地域で〔安全な市民生活の確保〕が2位、〔自転車対策の推進〕が4位となっていること、中央地域で〔小・中学校教育の充実〕が7位となっていること、武蔵境地域で〔駅周辺の整備〕が5位となっていることがあげられる。(図表3-12)

図表3-12 重要度（性別・居住地域別順位）

別 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域
1位	災害に強いまちづくり 3.641	ごみ減量の促進 3.556	災害に強いまちづくり 3.701	災害に強いまちづくり 3.632	災害に強いまちづくり 3.621	災害に強いまちづくり 3.673
2位	ごみ減量の促進 3.594	災害に強いまちづくり 3.553	ごみ減量の促進 3.620	安全な市民生活の確保 3.564	ごみ減量の促進 3.595	ごみ減量の促進 3.642
3位	安全な市民生活の確保 3.578	安全な市民生活の確保 3.530	安全な市民生活の確保 3.609	ごみ減量の促進 3.559	安全な市民生活の確保 3.586	安全な市民生活の確保 3.602
4位	上・下水道の再整備 3.553	自転車対策の推進 3.519	高齢者福祉の推進 3.579	自転車対策の推進 3.554	高齢者福祉の推進 3.574	上・下水道の再整備 3.578
5位	高齢者福祉の推進 3.549	上・下水道の再整備 3.510	上・下水道の再整備 3.578	高齢者福祉の推進 3.532	上・下水道の再整備 3.569	駅周辺の整備 3.566
6位	自転車対策の推進 3.519	高齢者福祉の推進 3.508	自転車対策の推進 3.517	上・下水道の再整備 3.519	自転車対策の推進 3.517	高齢者福祉の推進 3.541
7位	環境負荷が少ないまちづくり 3.464	行財政改革の推進 3.462	子ども施策の充実 3.476	環境負荷が少ないまちづくり 3.481	小・中学校教育の充実 3.468	自転車対策の推進 3.482
8位	駅周辺の整備 3.432	駅周辺の整備 3.461	環境負荷が少ないまちづくり 3.465	子ども施策の充実 3.415	環境負荷が少ないまちづくり 3.445	子ども施策の充実 3.461
9位	子ども施策の充実 3.431	環境負荷が少ないまちづくり 3.460	小・中学校教育の充実 3.440	小・中学校教育の充実 3.401	子ども施策の充実 3.427	環境負荷が少ないまちづくり 3.458
10位	小・中学校教育の充実 3.427	小・中学校教育の充実 3.415	障害者福祉の推進 3.422	行財政改革の推進 3.394	行財政改革の推進 3.424	小・中学校教育の充実 3.425

年代別で見ると、20歳～29歳では、〔環境負荷が少ないまちづくり〕が3位、〔子ども施策の充実〕が5位となっている。30歳～39歳でも〔子ども施策の充実〕は2位となっており、育児・子育て初期段階の世代の意識が表れている。40歳～49歳では、〔自転車対策の推進〕が3位となっている。高年齢層では、60歳～69歳と80歳以上で、〔上・下水道の再整備〕がそれぞれ1位となっているほか、〔自転車対策の推進〕が70歳～79歳で3位、80歳以上で4位となっており、高年齢層では、自転車のマナーや駐輪場の問題の解決が、他の年齢層よりも重要と認識されている。(図表3-13)

図表3-13 重要度（年代別順位）

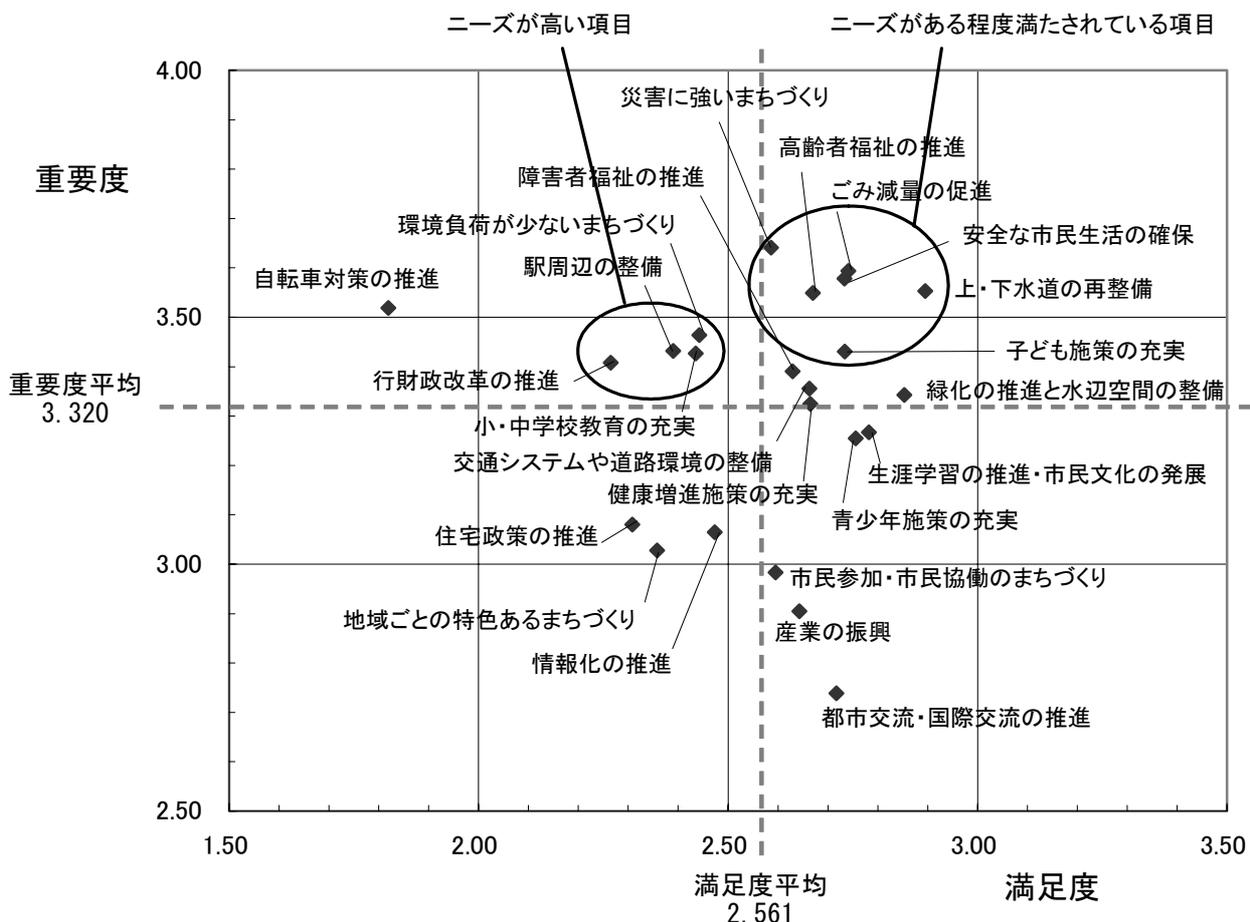
年代 順位	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上
1位	災害に強いまちづくり 3.667	災害に強いまちづくり 3.700	災害に強いまちづくり 3.628	災害に強いまちづくり 3.626	上・下水道の再整備 3.672	ごみ減量の促進 3.629	上・下水道の再整備 3.679
2位	ごみ減量の促進 3.655	子ども施策の充実 3.645	安全な市民生活の確保 3.587	ごみ減量の促進 3.624	ごみ減量の促進 3.639	上・下水道の再整備 3.601	災害に強いまちづくり 3.675
3位	環境負荷が少ないまちづくり 3.651	安全な市民生活の確保 3.617	自転車対策の推進 3.493	高齢者福祉の推進 3.624	災害に強いまちづくり 3.622	自転車対策の推進 3.588	安全な市民生活の確保 3.590
4位	高齢者福祉の推進 3.641	ごみ減量の促進 3.575	ごみ減量の促進 3.491	上・下水道の再整備 3.595	安全な市民生活の確保 3.597	災害に強いまちづくり 3.569	自転車対策の推進 3.553
5位	子ども施策の充実 3.615	環境負荷が少ないまちづくり 3.572	高齢者福祉の推進 3.464	安全な市民生活の確保 3.529	高齢者福祉の推進 3.594	安全な市民生活の確保 3.563	高齢者福祉の推進 3.549
6位	安全な市民生活の確保 3.544	小・中学校教育の充実 3.523	上・下水道の再整備 3.441	自転車対策の推進 3.491	自転車対策の推進 3.542	高齢者福祉の推進 3.513	ごみ減量の促進 3.521
7位	自転車対策の推進 3.524	高齢者福祉の推進 3.487	小・中学校教育の充実 3.411	行財政改革の推進 3.460	行財政改革の推進 3.492	駅周辺の整備 3.503	駅周辺の整備 3.500
8位	障害者福祉の推進 3.518	自転車対策の推進 3.485	駅周辺の整備 3.399	環境負荷が少ないまちづくり 3.439	小・中学校教育の充実 3.456	小・中学校教育の充実 3.459	緑化の推進と水辺空間の整備 3.468
9位	上・下水道の再整備 3.510	上・下水道の再整備 3.447	子ども施策の充実 3.368	障害者福祉の推進 3.414	環境負荷が少ないまちづくり 3.453	行財政改革の推進 3.458	行財政改革の推進 3.453
10位	小・中学校教育の充実 3.493	駅周辺の整備 3.438	環境負荷が少ないまちづくり 3.336	駅周辺の整備 3.390	駅周辺の整備 3.445	健康増進施策の充実 3.380	交通システムや道路環境の整備 3.446

### 3-3 ニーズ得点

下図の散布図は【満足度】を横軸に、【重要度】を縦軸に23項目の位置を描いたものである。図の左下に位置するほど重要度が低く満足度も低い項目であることを、逆に、図の右上に位置するものほど重要度が高く満足度も高い項目であることを意味している。また、左上に位置するものは、重要度が高く満足度の低い項目であることから、【ニーズ得点】の高い項目であるといえる。

散布図において、左上（重要度が高く、満足度が低い）に位置するのは〔自転車対策の推進〕や〔環境負荷が少ないまちづくり〕、〔駅周辺の整備〕、〔小・中学校教育の充実〕、〔行財政改革の推進〕などであり、これらはニーズ得点の高い項目である。一方、〔ごみ減量の促進〕、〔安全な市民生活の確保〕、〔上・下水道の再整備〕、〔高齢者福祉の推進〕、〔子ども施策の充実〕は、右上（重要度が高く、満足度も高い）に位置し、ニーズがある程度満たされている項目であることがわかる。（図表3-14）

図表3-14 散布図（満足度・重要度）



「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」と無回答を除いた回答の平均値を【満足度（加重平均）】、「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、無回答を除いた回答の平均値を【重要度（加重平均）】として、各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）の計算結果を【ニーズ得点】として求めた。

【ニーズ得点】は、〔自転車対策の推進〕(11.194)が最も高くなった。次いで、〔行財政改革の推進〕(9.321)が高く、以下、〔駅周辺の整備〕(8.958)、〔環境負荷が少ないまちづくり〕(8.861)、〔小・中学校教育の充実〕(8.790)、〔災害に強いまちづくり〕(8.789)などの順となっている。(図表3-15)

図表3-15 項目別ニーズ得点

(点数順)

順位	番号	項目	得点 ニーズ	順位	番号	項目	得点 ニーズ
1	19	自転車対策の推進	11.194	13	18	交通システムや道路環境の整備	7.843
2	22	行財政改革の推進	9.321	14	4	子ども施策の充実	7.775
3	20	駅周辺の整備	8.958	15	3	健康増進施策の充実	7.764
4	8	環境負荷が少ないまちづくり	8.861	16	23	情報化の推進	7.745
5	6	小・中学校教育の充実	8.790	17	21	上・下水道の再整備	7.479
6	13	災害に強いまちづくり	8.789	18	5	青少年施策の充実	7.304
7	17	住宅政策の推進	8.291	19	7	生涯学習の推進・市民文化の発展	7.246
8	1	高齢者福祉の推進	8.269	20	10	緑化の推進と水辺空間の整備	7.177
9	9	ごみ減量の促進	8.119	21	14	市民参加・市民協働のまちづくり	7.174
10	12	安全な市民生活の確保	8.111	22	11	産業の振興	6.847
11	2	障害者福祉の推進	8.040	23	15	都市交流・国際交流の推進	6.253
12	16	地域ごとの特色あるまちづくり	8.000				

\*ニーズ得点…各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）で計算。

例；「自転車対策の推進」について寄せられた回答数は以下の表のとおり。

【満足度（加重平均）】

(4点×33件+3点×248件+2点×459件+1点×547件)÷1,287(合計件数)=1.819

【重要度（加重平均）】

(4点×758件+3点×556件+2点×42件+1点×5件)÷1,361(合計件数)=3.519

【ニーズ得点】

3.519×(5-1.819)=11.194

点数	4	3	2	1					4	3	2	1			
	満足	満足 ある 程度	あまり 満足 していない	不満足	合計	わからない	無回答	満足度 (加重平均)	重要	重要 ある 程度	あまり 重要 でない	重要 でない	合計	無回答	重要度 (加重平均)
件数	33	248	459	547	1,287	123	32	1.819	758	556	42	5	1,361	81	3.519

性別で見ると、男性では、〔地域ごとの特色あるまちづくり〕が7位となっている。女性では、〔小・中学校教育の充実〕が3位、〔災害に強いまちづくり〕が4位となっている。

居住地域別で見ると、吉祥寺地域では、〔環境負荷が少ないまちづくり〕が3位となっている。中央地域では、〔災害に強いまちづくり〕が3位となっている。武蔵境地域では、〔小・中学校教育の充実〕が4位となっている。(図表3-16)

図表3-16 ニーズ得点（性別・居住地域別順位）

別 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域
1位	自転車対策の推進 11.194	自転車対策の推進 11.324	自転車対策の推進 11.086	自転車対策の推進 11.689	自転車対策の推進 11.057	自転車対策の推進 10.648
2位	行財政改革の推進 9.321	行財政改革の推進 9.638	行財政改革の推進 9.050	行財政改革の推進 9.429	行財政改革の推進 9.406	行財政改革の推進 9.104
3位	駅周辺の整備 8.958	駅周辺の整備 9.203	小・中学校教育の充実 8.947	環境負荷が少ないまちづくり 9.019	災害に強いまちづくり 8.897	駅周辺の整備 9.022
4位	環境負荷が少ないまちづくり 8.861	環境負荷が少ないまちづくり 8.716	災害に強いまちづくり 8.942	駅周辺の整備 8.935	駅周辺の整備 8.885	小・中学校教育の充実 8.922
5位	小・中学校教育の充実 8.790	小・中学校教育の充実 8.592	環境負荷が少ないまちづくり 8.922	災害に強いまちづくり 8.920	小・中学校教育の充実 8.816	環境負荷が少ないまちづくり 8.894
6位	災害に強いまちづくり 8.789	災害に強いまちづくり 8.524	駅周辺の整備 8.778	小・中学校教育の充実 8.693	環境負荷が少ないまちづくり 8.661	災害に強いまちづくり 8.558
7位	住宅政策の推進 8.291	地域ごとの特色あるまちづくり 8.421	高齢者福祉の推進 8.282	住宅政策の推進 8.263	住宅政策の推進 8.297	住宅政策の推進 8.333
8位	高齢者福祉の推進 8.269	住宅政策の推進 8.414	住宅政策の推進 8.169	高齢者福祉の推進 8.237	高齢者福祉の推進 8.220	高齢者福祉の推進 8.251
9位	ごみ減量の促進 8.119	安全な市民生活の確保 8.384	障害者福祉の推進 8.001	安全な市民生活の確保 8.229	障害者福祉の推進 8.182	ごみ減量の促進 8.216
10位	安全な市民生活の確保 8.111	ごみ減量の促進 8.246	ごみ減量の促進 7.997	地域ごとの特色あるまちづくり 8.217	安全な市民生活の確保 8.086	情報化の推進 8.000

年代別で見ると、20歳～29歳では、〔災害に強いまちづくり〕が2位となっている。30歳～39歳と40歳～49歳では、〔小・中学校教育の充実〕がそれぞれ3位となっている。50歳～59歳では、〔災害に強いまちづくり〕が4位となっている。60歳～69歳では、〔住宅政策の推進〕が5位となっている。70歳～79歳では、〔高齢者福祉の推進〕が4位となっている。80歳以上では、〔災害に強いまちづくり〕が2位となっている。70歳～79歳と80歳以上では、〔地域ごとの特色あるまちづくり〕がそれぞれ5位となっている。(図表3-17)

図表3-17 ニーズ得点（年代別順位）

年代 順位	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上
1位	自転車対策の推進 11.425	自転車対策の推進 10.755	自転車対策の推進 11.454	自転車対策の推進 11.150	自転車対策の推進 11.125	自転車対策の推進 11.582	自転車対策の推進 11.032
2位	災害に強いまちづくり 9.483	行財政改革の推進 9.262	駅周辺の整備 9.514	行財政改革の推進 10.072	行財政改革の推進 9.799	駅周辺の整備 8.782	災害に強いまちづくり 9.154
3位	行財政改革の推進 9.101	小・中学校教育の充実 9.223	小・中学校教育の充実 9.315	駅周辺の整備 9.041	環境負荷が少ないまちづくり 8.967	行財政改革の推進 8.756	駅周辺の整備 8.771
4位	環境負荷が少ないまちづくり 8.963	駅周辺の整備 8.839	環境負荷が少ないまちづくり 9.294	災害に強いまちづくり 8.989	駅周辺の整備 8.923	高齢者福祉の推進 8.751	行財政改革の推進 8.633
5位	駅周辺の整備 8.572	災害に強いまちづくり 8.706	行財政改革の推進 9.013	環境負荷が少ないまちづくり 8.952	住宅政策の推進 8.809	地域ごとの特色あるまちづくり 8.485	地域ごとの特色あるまちづくり 8.617
6位	住宅政策の推進 8.391	環境負荷が少ないまちづくり 8.609	災害に強いまちづくり 8.841	小・中学校教育の充実 8.794	災害に強いまちづくり 8.515	小・中学校教育の充実 8.461	住宅政策の推進 8.572
7位	小・中学校教育の充実 8.383	子ども施策の充実 8.256	ごみ減量の促進 8.595	高齢者福祉の推進 8.683	高齢者福祉の推進 8.493	災害に強いまちづくり 8.366	環境負荷が少ないまちづくり 8.558
8位	交通システムや道路環境の整備 8.224	住宅政策の推進 8.123	安全な市民生活の確保 8.422	ごみ減量の促進 8.379	地域ごとの特色あるまちづくり 8.430	環境負荷が少ないまちづくり 8.206	障害者福祉の推進 8.149
9位	ごみ減量の促進 8.136	ごみ減量の促進 8.012	地域ごとの特色あるまちづくり 8.190	地域ごとの特色あるまちづくり 8.312	安全な市民生活の確保 8.334	住宅政策の推進 8.050	高齢者福祉の推進 7.985
10位	安全な市民生活の確保 8.091	障害者福祉の推進 8.009	障害者福祉の推進 8.180	障害者福祉の推進 8.047	小・中学校教育の充実 8.201	安全な市民生活の確保 8.024	産業の振興 7.820

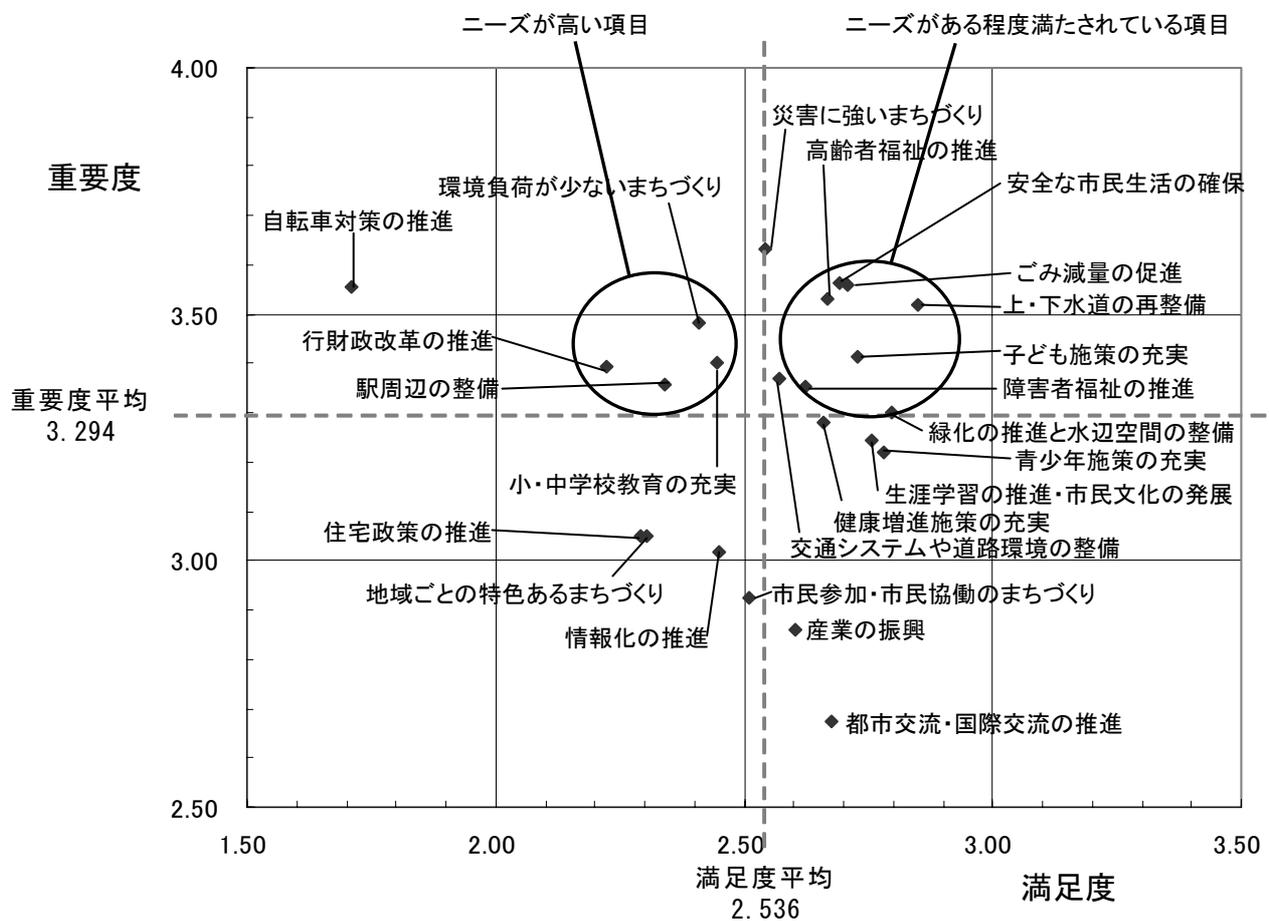
### 3-4 満足度と重要度の分析（居住地域別）

【満足度】と【重要度】の散布図を居住地域別にみると、吉祥寺地域で【満足度】、【重要度】の平均点が他の地域より比較的低くなっている。

各居住地域で特徴のある項目は次のとおりである。

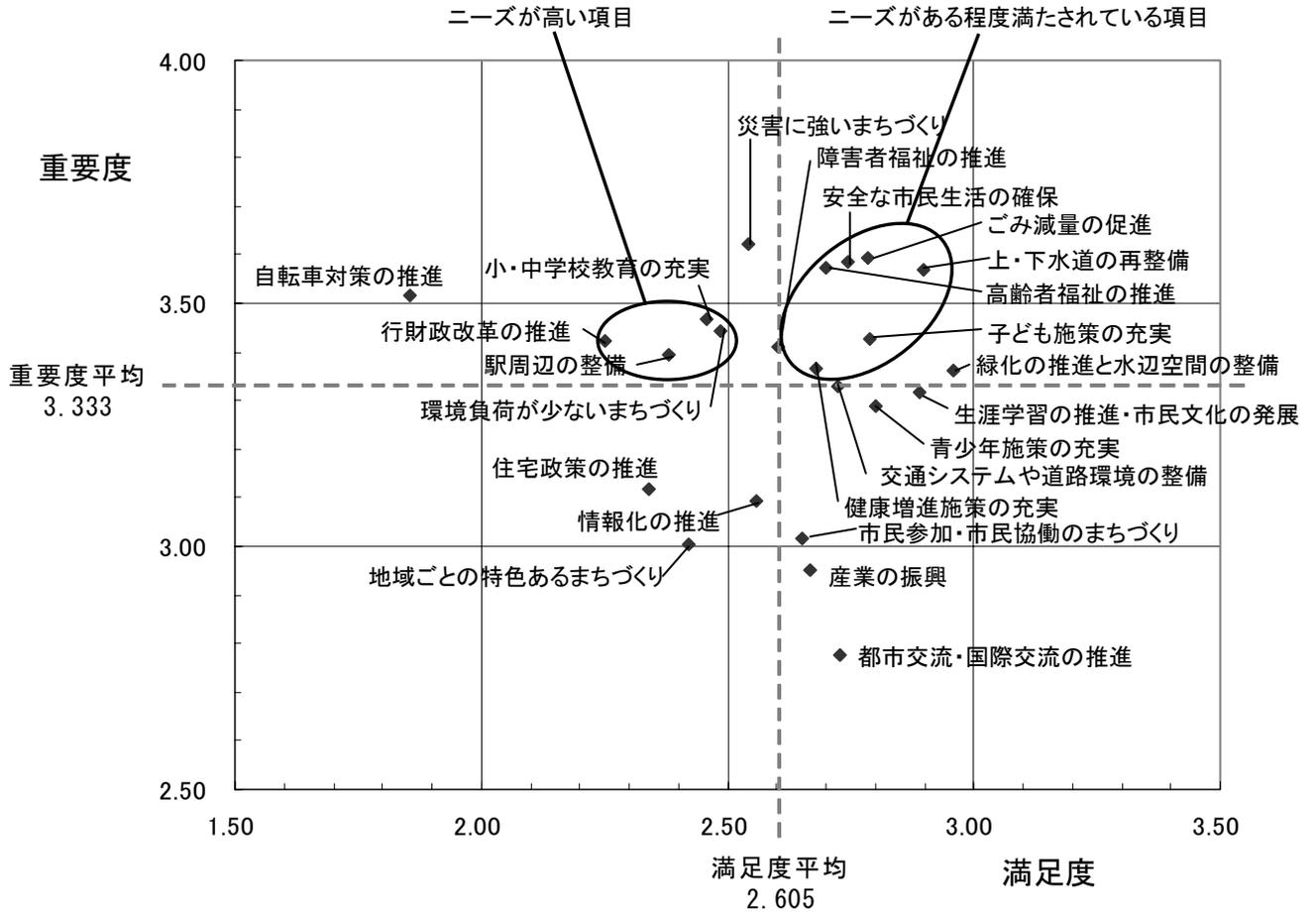
吉祥寺地域では、〔自転車対策の推進〕、〔交通システムや道路環境の整備〕、〔市民参加・市民協働のまちづくり〕の【満足度】が比較的低い。【重要度】が比較的低いのは、〔駅周辺の整備〕、〔都市交流・国際交流の推進〕、〔市民参加・市民協働のまちづくり〕である。（図表3-18）

図表3-18 散布図（満足度・重要度） 吉祥寺地域



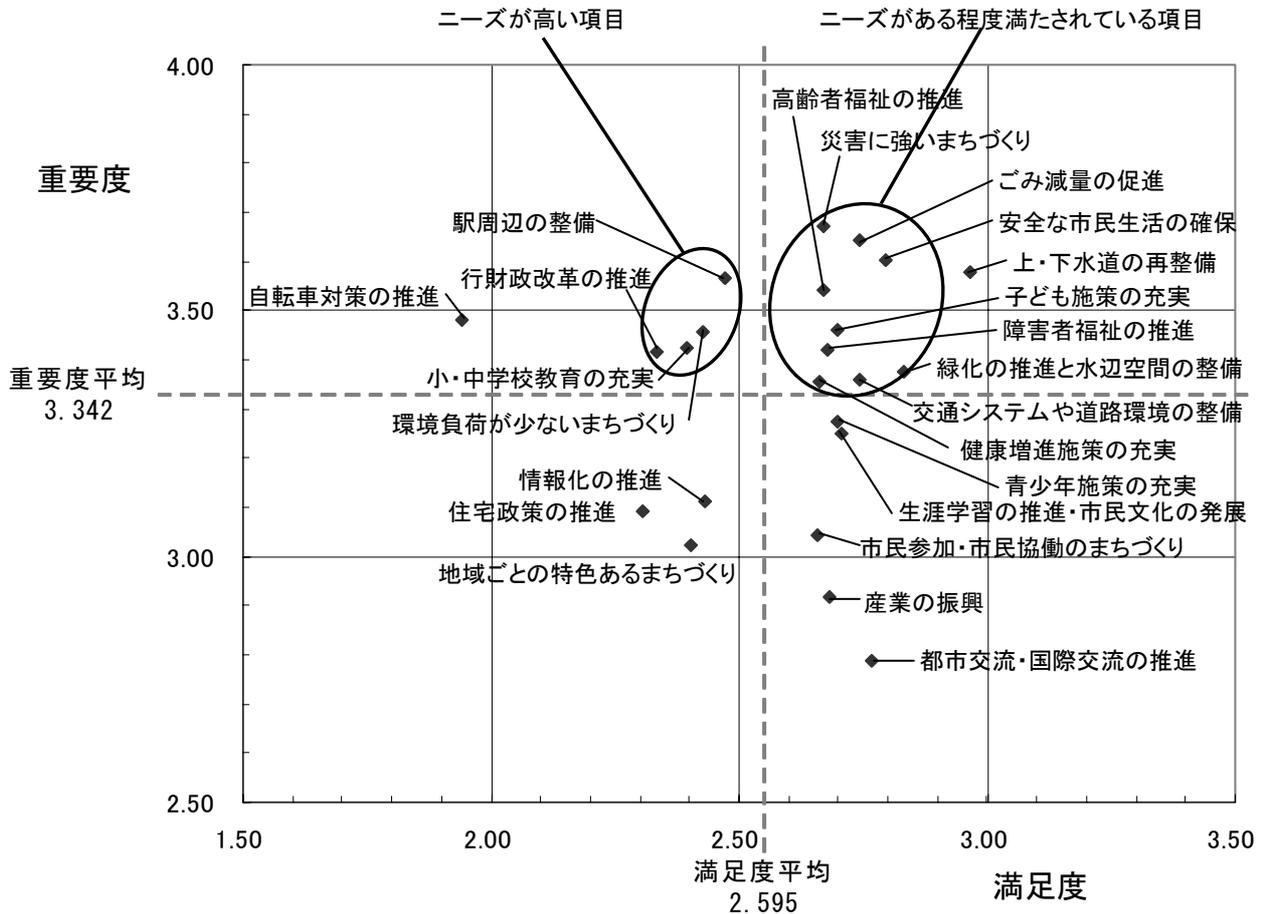
中央地域では、〔生涯学習の推進・市民文化の発展〕、〔緑化の推進と水辺空間の整備〕、〔情報化の推進〕の【満足度】が比較的高い。【重要度】が比較的高いのは、〔生涯学習の推進・市民文化の発展〕、〔産業の振興〕である。(図表3-19)

図表3-19 散布図(満足度・重要度) 中央地域



武蔵境地域では、〔自転車対策の推進〕、〔災害に強いまちづくり〕、〔駅周辺の整備〕、〔交通システムや道路環境の整備〕の【満足度】が比較的高い。【満足度】が低いのは〔生涯学習の推進・市民文化の発展〕、〔青少年施策の充実〕となっている。【重要度】が比較的高いのは、〔駅周辺の整備〕、〔市民参加・市民協働のまちづくり〕である。(図表3-20)

図表3-20 散布図(満足度・重要度) 武蔵境地域

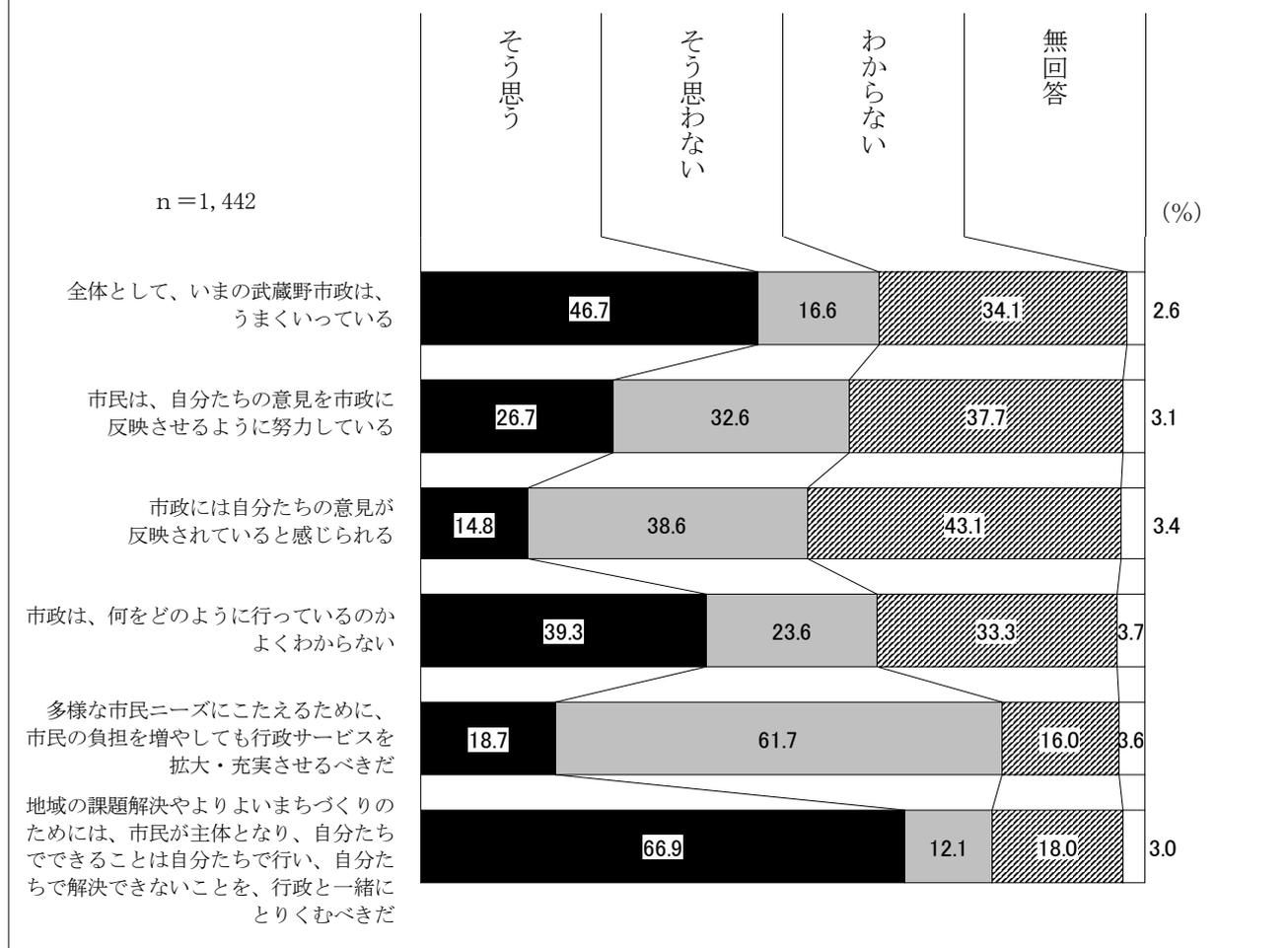


### 3-5 市政の現状や問題点

- ◎ [全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている] では、「そう思う」は4割台半ばを超え、[地域の課題解決やよりよいまちづくりのためには、市民が主体となり、自分たちでできることは自分たちで行い、自分たちで解決できないことを、行政と一緒にとりくむべきだ] では6割台半ばを超える

問14 市政の現状や問題点についてあなたはどのように思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

図表 3-21 市政の現状や問題点



市政に対する現状や問題点について聞いた。

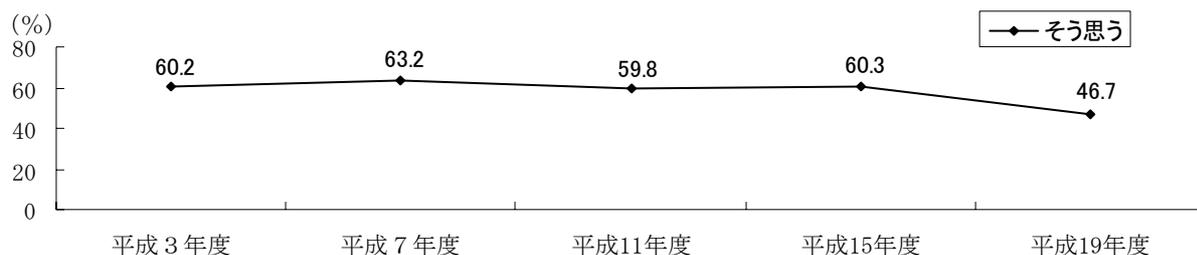
[全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている] は「そう思う」(46.7%) が4割台半ばを超えている。

[市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している] は「そう思わない」(32.6%) が「そう思う」(26.7%) を若干上回っている。また、[市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる] は「そう思わない」(38.6%) が4割近く、[市政は、何をどのように行っているのかよくわからない] は「そう思う」(39.3%) が4割弱となっている。

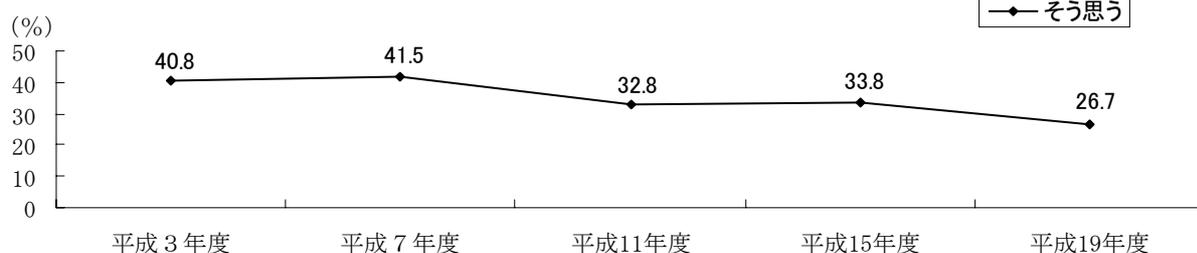
[多様な市民ニーズにこたえるために、市民の負担を増やしても行政サービスを拡大・充実させるべきだ] は、「そう思わない」(61.7%) が6割強、[地域の課題解決やよりよいまちづくりのためには、市民が主体となり、自分たちでできることは自分たちで行い、自分たちで解決できないことを、行政と一緒にとりくむべきだ] は、「そう思う」(66.9%) が6割台半ばを超えている。(図表3-21)

図表 3-22 市政の現状や問題点（経年比較）

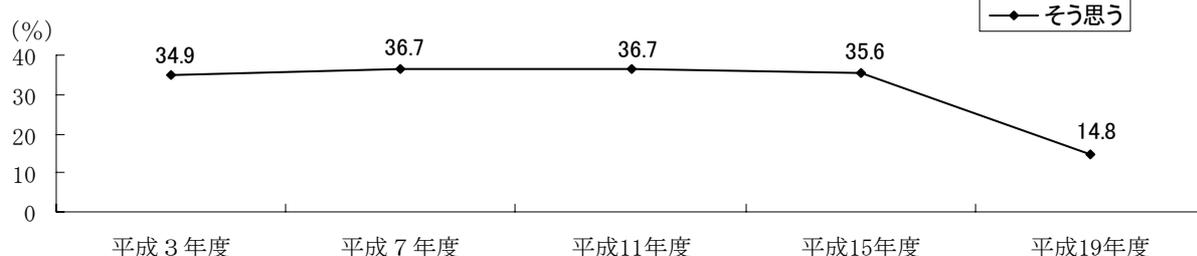
□ 全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている



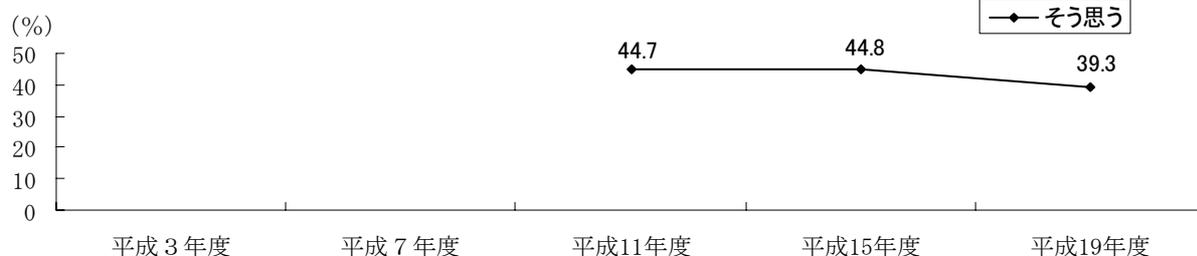
□ 市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している



□ 市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる



□ 市政は、何をどのように行っているのかよくわからない



※ 平成15年度調査以前では、「全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている」は「いまの武蔵野市の行政は、一般的にうまくいっている」、「市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している」は「一般の武蔵野市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している」、「市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる」は「武蔵野市政は、市民の意見を反映しているといつてよい」、「市政は、何をどのように行っているのかよくわからない」は「武蔵野市の行政は、何をどのように行っているのかよくわからない」の表記となっている。また、「市政は、何をどのように行っているのかよくわからない」は平成11年度調査から実施している。

市政に対する現状や問題点の「そう思う」割合を過去の調査と比較した。

〔全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている〕は平成15年度まで6割前後だったが、平成19年度では4割台半ばと減少しており、市政の総合評価としては厳しい結果となっている。平成15年度までほぼ横ばいで推移してきたものが急に減少した要因はこの意識調査結果からは導くことができないが、これまでの市の取り組み等に照らして市民に及ぼす影響を探る必要がある。

〔市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している〕は平成7年以降で減少する傾向にあり、平成19年度では2割台半ばとなっている。市民ニーズは多様化・複雑化しており、さまざまな形での市民参加の機会の拡大、地域の課題解決に向けた自主的な取組への支援や、意見を引き出す体制の整備が求められる。

〔市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる〕は平成15年度まで3割台半ばとなっていたが、平成19年度では1割台半ばと減少している。ただし、前項目の〔市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している〕も減少しており、市民の声を収集し、それが市政に反映されていることが分かるような仕組みづくりがまず必要である。

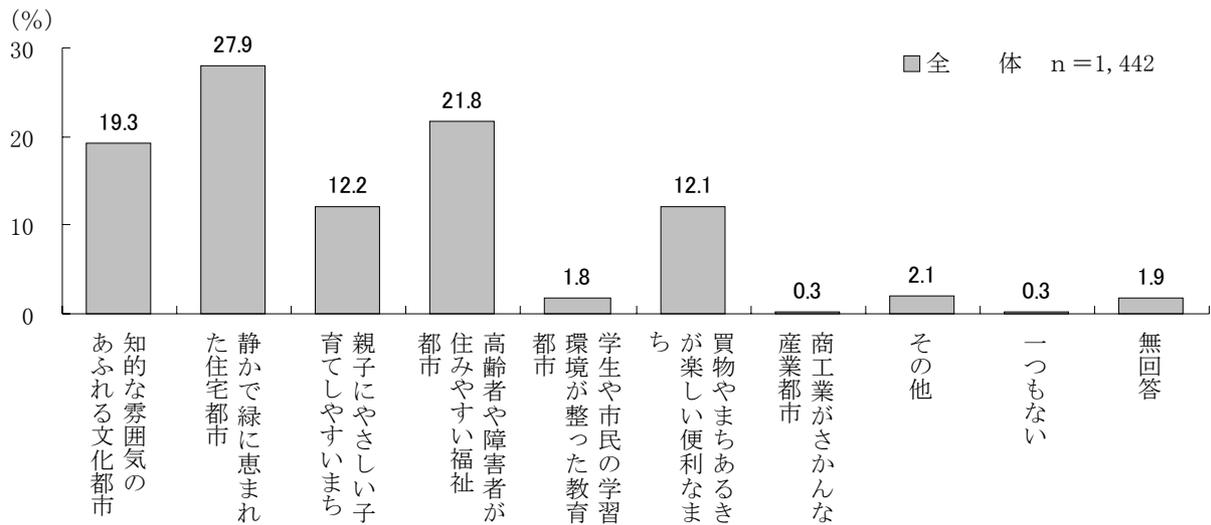
〔市政は、何をどのように行っているのかよくわからない〕は、平成15年度まで4割台半ば近くなっていたが、平成19年度では4割弱と減少している。今後も情報提供を充実するなど、市政の透明性の向上に努める必要がある。(図表3-22)

### 3-6 武蔵野市の将来像

◎ 「静かで緑に恵まれた住宅都市」が2割台半ばを超え、「高齢者や障害者が住みやすい福祉都市」が2割強、「知的な雰囲気のある文化都市」が2割弱

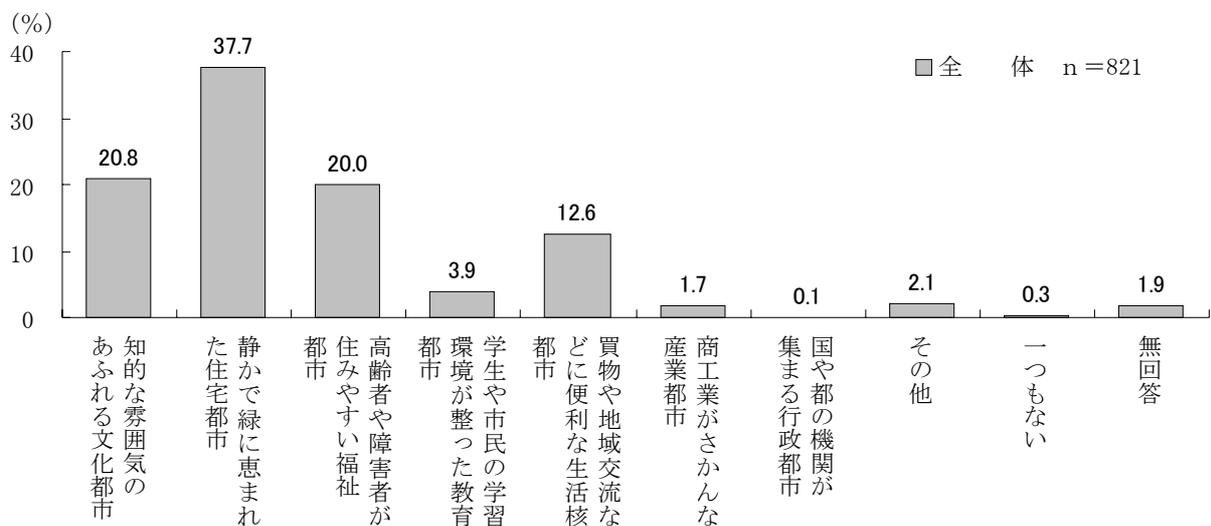
問15 あなたは、武蔵野市は全体として、これからどのような都市になることが望ましいと思いますか。(○は1つ)

図表3-23 武蔵野市の将来像



武蔵野市の将来像としては、「静かで緑に恵まれた住宅都市」(27.9%)が2割台半ばを超えて最も多くなっている。次いで、「高齢者や障害者が住みやすい福祉都市」(21.8%)が2割強、「知的な雰囲気のある文化都市」(19.3%)が2割弱である。(図表3-23)

参考：平成15年度調査の結果



図表 3-24 武蔵野市の将来像 (性別・年代別・居住地域別)

		調査数 (n)	知的な雰囲気のある文化都市	静かで緑に恵まれた住宅都市	親子にやさしい子育てしやすいまち	高齢者や障害者が住みやすい福祉都市	学生や市民の学習環境が整った教育都市	買物やまちあるきが楽しい便利なまち	商工業がさかんな産業都市	その他	一つもない	無回答
全 体		1,442	19.3	27.9	12.2	21.8	1.8	12.1	0.3	2.1	0.3	1.9
性別	男性	577	20.3	32.6	9.4	19.2	0.9	13.0	0.5	2.3	0.5	1.4
	女性	846	18.7	25.2	14.3	23.8	2.5	11.5	0.2	2.1	0.2	1.5
年代別	20歳～29歳	148	12.2	27.7	22.3	8.1	3.4	21.6	-	4.1	0.7	-
	30歳～39歳	269	14.1	26.0	32.0	6.7	3.0	13.0	-	2.2	0.7	2.2
	40歳～49歳	228	22.4	30.7	13.2	13.2	3.5	11.4	0.4	3.5	0.4	1.3
	50歳～59歳	232	26.7	27.2	6.0	22.0	1.7	13.8	0.4	1.7	-	0.4
	60歳～69歳	271	19.9	30.3	4.1	34.7	-	7.0	0.4	1.8	-	1.8
	70歳～79歳	187	23.5	27.8	0.5	34.2	0.5	10.2	-	1.1	0.5	1.6
	80歳以上	99	12.1	25.3	1.0	44.4	-	11.1	2.0	-	-	4.0
居住地域別	吉祥寺地域	593	22.9	27.3	10.6	18.7	1.3	14.7	0.5	2.0	0.3	1.5
	中央地域	373	19.3	29.0	12.3	21.7	2.4	10.7	-	1.9	0.5	2.1
	武蔵境地域	451	15.3	28.4	13.7	25.7	1.8	10.0	0.4	2.4	-	2.2

性別で見ると、「静かで緑に恵まれた住宅都市」では、男性の方が女性よりも7.4ポイント多くなっている。逆に、「親子にやさしい子育てしやすいまち」では、女性の方が男性よりも4.9ポイント、「高齢者や障害者が住みやすい福祉都市」では、4.6ポイント多い。

年代別で見ると、「静かで緑に恵まれた住宅都市」では、40歳～49歳と60歳～69歳でそれぞれ約3割と多い。「高齢者や障害者が住みやすい福祉都市」では、年代が上がるほど増加しており、特に80歳以上で4割台半ば近い。「知的な雰囲気のある文化都市」では、50～59歳で2割台半ばを超えている。「親子にやさしい子育てしやすいまち」では、30歳～39歳で3割強、20歳～29歳で2割強と多い。「買物やまちあるきが楽しい便利なまち」では、20歳～29歳で2割強となっている。

居住地域別で見ると、特に大きな違いは見られないものの、「知的な雰囲気のある文化都市」では吉祥寺地域で2割強、「高齢者や障害者が住みやすい福祉都市」では武蔵境地域で2割台半ばとなっている。(図表 3-24)